

平成 26 年度 全国私立中学高等学校 私学経営研修会

実施案内

《主催》一般財団法人私学研修福祉会 《協力》一般財団法人日本私学教育研究所
《後援》沖縄県・那覇市・沖縄県私立中学高等学校協会・日本私立中学高等学校連合会

研究のねらい

グローバル化時代の教育と経営 ～経営者・教職員はいかに対応すべきか～

2014 年、安倍政権は新たな教育再生実行の為の政策を次々と打ち出し、教育の制度と内容に係る諸改革を迅速かつ強気に押し進めている。マスコミは連日教育改革トピックスを報じ、教育界、私立学校、子どもたちと保護者らは改革の激流に翻弄されている。高校授業料無償化制度見直しで一本化された公私立高校就学支援金制度への所得制限導入・給付型奨学金制度創設、私立学校耐震改築事業支援制度創設等の朗報がある一方で、大学入試改革における達成度テスト(仮称)導入、学制改革、教育委員会制度改革に伴う地方教育行政法改正、私立大学経営破綻に端を発した私立学校法改正、国家戦略特区における公設民営学校構想等、一連の改革は私立学校を脅かしかねず、今後の動向は看過できない。

少子化・国際化等を背景に政財界からグローバル人材育成が教育現場に求められる中で、2020 年東京オリンピック・パラリンピックを見据えた「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」が策定され、小・中・高校における英語教育強化が謳われた。スーパーグローバルハイスクール(SGH)によるグローバル・リーダー育成、大学入試への TOEFL 等外部試験導入、国際バカロレア(IB)日本語 DP 開発と IB 認定校大幅增加計画等の諸施策は逐次進められる。グローバル化に対応した教育力・経営力の充実強化は私立学校にとって喫緊の課題であり、これらをどう受け止め、各校の教育や建学の精神へと融合・進化させ、自らの活路を見いだすのか。まさに私学の真価が問われている。

本年度の研修会は「グローバル化時代の教育と経営」を研究のねらいに、グローバル社会を生き抜く人材育成に向けた私立学校の取組と経営課題、グローバル化への対応と経営者・教職員のあり方等、それぞれの現状と将来に向き合う機会の提供を目指しプログラムを構成した。沖縄県の企業経営者を迎えての講演、中央からの最新情勢報告、地方私学の実践報告、パネルに加えて全国の参加者が一堂に会して交流し、各学校の現状と悩みを語り合い、共有する課題の打開策を探るべくグループ討議形式で意見交換と懇談を行う。また、グローバル教育に先進的に取り組む沖縄県の私立学校を視察する。

避けて通ることのできないグローバル化の流れの中、学校経営者として、未来を切り拓く子どもたちを支える教育者として、改めて自らの教育理念と学校経営を省みることで、私学の果たすべき使命と明日の姿が見えてくるであろう。

会 期	平成26年6月5日(木)～6日(金)の2日間
会 場	沖縄県 那覇市 ホテル日航那覇グランドキャッスル 【那覇空港より車で約 30 分】
募集人員	120名
参加対象	理事長、校長、副校長・教頭、事務長またはこれらに準ずる管理職の方
基調講演	演題 「ダイバーシティ企業経営への挑戦 ～多文化共生社会の中で～」 講師 東 良 和 沖縄ツーリスト株式会社 代表取締役会長

《講師プロフィール》

東 良和(ひがし よしかず)

1960(昭和 35)年沖縄県那覇市生まれ。早稲田大学社会科学部卒業後、日本航空(株)勤務を経て、米国コーネル大学ホテル経営大学院に留学(ホスピタリティ経営学修士)。1990(平成 2)年沖縄ツーリスト株式会社入社。2004(平成 16)年同社代表取締役就任。2014(平成 26)年同社代表取締役会長就任。2012(平成 24 年)ムスリム・フレンドリーツアーでツアー・グランプリ受賞。2013(平成 25 年)経済産業省ダイバーシティ企業 100 選に選定。現在、日本ユネスコ国内委員会委員(文部科学省)、VISIT JAPAN 大使(観光庁)、日本旅行業協会理事、沖縄経済同友会副代表幹事等を務める。県内外の大学や組織で日本の観光のあり方や観光経営人材の育成について積極的に講演・執筆活動を行っている。

基本日程

※プログラム・内容は今後変更となる場合があります。

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	30	30	30	40	10	40	10		45	30	45	15	30
6/5 (木)	受付	開会式	講演	基調講演	昼食	報告	中高連	沖縄県 私立中学 高等学校	日私教研	パネル・ ディスカッション	教育懇談会		
6/6 (金)	意見交換会		【分科会】 グループ討議	全体会	昼食	学校視察 A 沖縄尚学高等学校・附属中学校 沖縄アミックスインターナショナル中学校		学校視察 B 沖縄尚学高等学校・附属中学校					

～ 平成 26(2014)年 ～ 日本私学教育研究所は次の半世紀に向かって 新たな歴史を刻んで参ります

今年の私学経営研修会は
独自の歴史と文化が育まれ、美しい大自然に恵まれた沖縄県・那覇市において
史跡に囲まれた首里の丘に建つくホテル日航那覇グランドキャッスルを会場に
開催いたします。

沖縄県での当研修会は昭和 55(1980)年の開催以来、実に 34 年振りとなります。

研修会の開催をご快諾下さった
沖縄県の私立学校と関係者に対して心よりお礼申し上げます。

各地の私立中学高等学校の代表者たちが沖縄の地に集い
私学人が直面する現状と課題、個々の多彩な知識・経験・情報を共有することで
各地の私立学校の教育活動をサポートできれば幸いです。

研修会のプログラムでは
県企業トップによる講演、中央と県私学の取組報告
パネルや参加者によるグループ討議等のほか
県私立中学高等学校協会からの全面的なご支援ご協力を得て
那覇市とうるま市の私立中学校・高等学校の視察コースを用意しています。

全国から多くの私立学校の先生方が
那覇市にお運び下さるよう心よりお願い申し上げます。

～ 昨年創立50周年を迎えた日本私学教育研究所は、心新たに
更なる私立学校の振興と子どもたちの明るい未来の実現のため、不断の努力を重ねて参ります～

一般財団法人日本私学教育研究所
私学経営専門委員長 實吉 幹夫

《 研修会日程・プログラム 》 ※プログラム・内容は変更となる場合があります。

【1日目】6月5日(木)

《研修会会場》ホテル日航那覇グランドキャッスル2階 守礼の間
 【司会・講師紹介等】鈴木秀一 一般財団法人日本私学教育研究所事務局長

08:30-09:00	受付
09:00-09:30	開会式 ◆主催者代表挨拶 吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長 ◆開催県代表挨拶 名城 政一郎 沖縄県私立中学高等学校協会会長 ◆来賓祝辞 仲井眞弘多 沖縄県知事 ◆来賓祝辞 翁長 雄志 那覇市長 ◆役員・専門委員紹介 (正副理事長、私学経営・教育制度専門委員等) ◆研修会運営方針説明 實吉 幹夫 一般財団法人日本私学教育研究所私学経営専門委員長
09:30-10:30	講演 ◆演題 「グローバル化時代の教育政策と私学情勢」 ◆講師 吉田 晋 日本私立中学高等学校連合会会長 一般財団法人日本私学教育研究所理事長
10:40-12:10	基調講演 ◆演題 「ダイバーシティ企業経営への挑戦 ～多文化共生社会の中で～」 ◆講師 東 良和 沖縄ツーリスト株式会社代表取締役会長
12:10-13:00	《昼食》
13:00-13:45	報告Ⅰ ◆テーマ 「教育制度改革の動向と私学の課題」 ◆報告者 實吉 幹夫 日本私立中学高等学校連合会教育制度委員長 一般財団法人日本私学教育研究所副理事長
13:45-14:45	報告Ⅱ ◆テーマ 「沖縄ローカルからグローバルな視点を育む」～沖縄の一私学のチャレンジ～ ◆報告者 名城 政一郎 学校法人尚学学園副理事長
14:45-15:15	報告Ⅲ ◆テーマ 「グローバル化時代の私学教育と教員育成」 ◆報告者 中川 武夫 一般財団法人日本私学教育研究所所長
15:30-18:00	パネル・ディスカッション ◆テーマ 「グローバル化時代の教育」～経営者・教職員はいかに対応すべきか～ ◆パネリスト 名城 政一郎 学校法人尚学学園副理事長 新川 智清 沖縄アミークスインターナショナル中学校校長 平方 邦行 工学院大学附属中学高等学校校長 ◆コーディネーター 野原 明 教育ジャーナリスト/ 文化学園大学杉並中学高等学校特別顧問・名誉校長
18:15-19:45	教育懇談会 《会場》同ホテル 20階スカイビュープラザ 1. 開会 2. 主催者挨拶 山中 幸平 一般財団法人日本私学教育研究所副理事長 3. 歓迎挨拶 名城 政次郎 沖縄県私立中学高等学校協会顧問・元会長 4. 来賓挨拶 沖縄県/那覇市関係者 5. アトラクション 空手道演武 6. 乾杯 我喜屋 優 沖縄県私立中学高等学校協会前会長 ～(懇談)～ 7. 次年度開催県代表挨拶 8. 閉会 * 円卓・着席形式。各グループ(1卓約10名)は、2日目の意見交換会(グループ討議)の希望 テーマ(参加申込書に記載し参加者が第2希望まで選択)に基づいてメンバー分けします。 * 私学経営・教育制度専門委員、日私教研・中高連役員等が各卓の「世話役」として自己紹介 から懇談・交流並びに翌日グループ討議の進行を促します。

08:30-11:00	<p>意見交換会 (グループ討議～全体会)</p> <p>テーマ「グローバル化時代の教育と経営」～経営者・教職員はいかに対応すべきか～</p> <p>【総合進行役】 鈴木 康之 水戸女子高等学校理事長・校長 一般財団法人日本私学教育研究所私学経営副専門委員長</p> <p>【世話役】 實 吉 幹 夫 私学経営専門委員長 長 塚 篤 夫 教育制度専門委員長 鈴木 康之 私学経営副専門委員長 木 内 秀 樹 私学経営専門委員 名城 政一郎 私学経営臨時委員 梅 村 光 久 教育制度専門委員 新 田 光之助 教育制度専門委員 野 原 明 教育制度客員研究員 真 城 義 麿 教育制度客員研究員 山 中 幸 平 副理事長 平 方 邦 行 理事 中 川 武 夫 所長 山 崎 吉 朗 主任研究員 須 藤 勉 東京学園高等学校副校長 金 野 眞 行 帝京八王子中学高等学校校長特別顧問</p>
08:30-10:30	<p>1. グループ討議 (2時間) 《重点テーマ》</p> <p>① グローバル化と経営 ② 学校と教員の改革 ③ 生徒募集対策 ④ グローバル化対応教育 ⑤ グローバル人材育成 ⑥ 学校危機管理</p> <p>☆グループ討議</p> <p>①～⑥の重点テーマを基にグループ編成(各10名程度：前日教育懇談会と同グループ)。各グループ世話役がキーマンとなり、テーマを中心に各学校の課題等について参加者主体で報告討議します。</p>
10:30-11:00	<p>2. 全体会 (30分)</p> <p>☆ 分科会報告(20分) … 分科会の各グループ世話役による報告(例：3分×6テーマ)</p> <p>☆ 意見交換会(10分) … 分科会報告・研修会全体を受けて参加者による意見交換</p>
11:00-11:10	<p>総括 實 吉 幹 夫 一般財団法人日本私学教育研究所私学経営専門委員長</p>
11:10-11:40	<p>《昼食》</p>
A11:40-16:00	<p>学校視察 Bコース ※バス利用：ホテル日航那覇出発・那覇空港帰着</p> <p>Aコース (約4時間20分) 【定員50名】</p> <p>① 沖縄尚学高等学校・附属中学校(共学校) [那覇市国場747] ② 沖縄アミークスインターナショナル中学校※(共学校) [うるま市字栄野比1212-1] ※平成26年4月中学校開設。併せて小学校を視察します。</p> <p>11:40 ホテル出発 ② 沖縄尚学高等学校・附属中学校視察 ② 沖縄アミークスインターナショナル中学校視察 [各校約1時間：学校紹介、授業・施設見学等]</p> <p>16:00頃 那覇空港(※解散後、希望者はバスにてホテル日航那覇へ)</p> <p>Bコース (約2時間50分) 【定員70名】</p> <p>① 沖縄尚学高等学校・附属中学校(共学校) [那覇市国場747]</p> <p>11:40 ホテル出発 ① 沖縄尚学高等学校・附属中学校視察 [約2時間：学校紹介、授業・施設見学等]</p> <p>14:30頃 那覇空港(※解散後、希望者はバスにてホテル日航那覇へ)</p> <p>※ 視察の時間帯によっては、授業見学ができない場合があります。 ※ 時間・行程は変更となる場合があります。交通事情によっては帰着時間が予定より遅れる場合があります。 ※ 視察途中で帰ることはできません。</p>
B11:40-14:30	

講師・指導員（順不同）

東名新平野須金吉實中	城川方原藤野須金吉實中	良政一智邦明勉眞行晋幹武	和政一郎清行明勉眞行晋幹武	（沖縄ツーリスト株式会社代表取締役会長） （学校法人尚学学園副理事長） （沖縄アミークスインターナショナル中学校校長） （工学院大学附属中学高等学校校長） （文化学園大学杉並中学高等学校特別顧問・名誉校長） （東京学園高等学校副校長） （帝京八王子中学高等学校校長特別顧問） （富士見丘中学高等学校理事長・校長） （東京女子学園中学高等学校理事長・校長） （蒲田女子高等学校顧問）
------------	-------------	--------------	---------------	---

専門委員・客員研究員・指導員（順不同）

實鈴長木名城梅新野眞山山	吉塚内城村田原城山中崎	幹康篤秀政一光久光之助明義磨幸秀吉	夫之夫樹一郎久助明磨平朗	（東京女子学園中学高等学校理事長・校長） （水戸女子高等学校理事長・校長） （順天中学高等学校校長） （東京成徳大学中学高等学校理事長・校長） （学校法人尚学学園副理事長） （学校法人梅村学園松阪法人本部長） （筑陽学園中学高等学校理事長・高校長） （文化学園大学杉並中学高等学校特別顧問・名誉校長） （大谷中学高等学校前校長） （学校法人山中学園理事長） （一般財団法人日本私学教育研究所事務局長） （一般財団法人日本私学教育研究所主任研究員）
--------------	-------------	-------------------	--------------	--

参加申込み方法

- 1) 申込先
下記の「参加申し込みの注意」をよくご覧になった上でお申し込み下さい。
- 2) 申込先
「一般財団法人日本私学教育研究所 私学経営研修会担当」宛
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷UNビル 6階
電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683
ホームページ <http://www.shigaku.or.jp/>
- 3) 申込締切日
平成26年5月23日（金）必着
申し込みは先着順に受け付けますので、募集人員を超えた場合は期日前でも締め切りとなる場合があります。

参加費

30,000 円（昼食2回、教育懇談会費、学校視察費を含む。※宿泊費別）

参加確認証

参加申込書受付後、参加確認証をご本人宛にお送りいたしますので、研修会当日受付にご提示下さい。

個人情報の取扱いについて

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要が生じた場合のみに利用いたします。

参加申し込みの注意

1. 参加申込書に必要事項を記載の上、「一般財団法人日本私学教育研究所 私学経営研修会担当」宛に FAX または郵送でお送り下さい（申込後2週間以内に確認証が届かない場合は電話で照会下さい）。
2. 参加申込書受付後、「参加確認証」と「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」をお送りします。参加費は、必ずこの払込用紙にて、指定されたコンビニエンスストアでお振り込み下さい。なお、参加費等の領収書は「払込受領証」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。
3. 研修会への参加申込み後の変更・取り消しについては、必ず、FAXにて日本私学教育研究所へご連絡下さい。不参加の場合、返金の精算は研修会終了後約1カ月かかりますので、あらかじめご承知おき下さい。なお、参加費振り込み後の場合は、事務手数料として1,000円を差し引いて返金いたしますのでご了承下さい。また、6月2日（月）15時00分以降に不参加の連絡があった場合、いったん納入された参加費は返金できません。研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。

宿泊のご案内

1. 宿泊の申し込みについて

「ホテル日航那覇グランドキャッスル」のご予約を承ります。

宿泊の申し込みは、「宿泊申込書」(参加申込書の下欄)に記入の上、「一般財団法人日本私学教育研究所 私学経営研修会担当」宛にFAXまたは郵送でお送り下さい。

申込内容確認後、「宿泊予約確認書」(参加確認証の下欄)を送付します。

申し込みは先着順で受付します。部屋数に限りがありますので、申込締切日(5月23日)前に満室となった場合は、その時点で締め切りとなります。

※個人情報に関しては、当研修会宿泊関連の情報以外の利用は一切いたしません。

ホテル名	部屋タイプ	料金	備考	チェックイン	チェックアウト
ホテル日航那覇グランドキャッスル	シングル 1名1室利用	10,000円	1泊朝食付、 税・サービス料込み	14時	11時

① 朝食が不要の場合でも特別料金の為、返金できませんのでご了承下さい。

② 喫煙希望の方は、その旨ご記入下さい。禁煙室は先着順となります(喫煙室の消臭処理となる場合があります)。

③ ツイン利用希望の方は、備考欄にその旨と同室者の氏名をご記入下さい(1名@7,000円:1泊朝食付、税・サービス料込)。

2. 宿泊代金のお支払い方法

宿泊代金は、ホテルにて、直接ご精算ください。

3. 宿泊の変更・取り消しについて

必ずFAXで日本私学教育研究所へご連絡下さい。取り消し時期によっては、キャンセル料金が発生することがあります。

【お申込み・お問い合わせ先】

一般財団法人日本私学教育研究所 (私学経営研修会担当)

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階

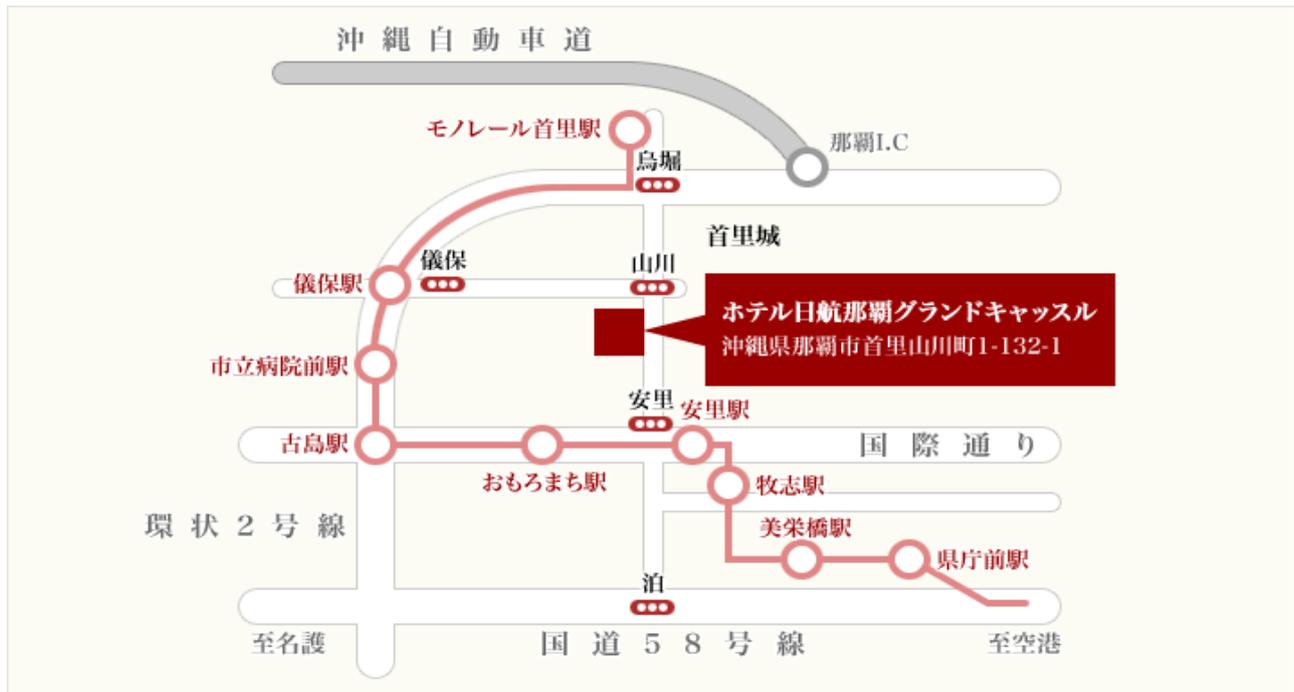
電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683

URL <http://www.shigaku.or.jp/>

研修会場・宿泊(ホテル日航那覇グランドキャッスル)のご案内

〒903-8601 沖縄県那覇市首里山川町1-132-1 TEL.098-886-5454

ホームページ URL <http://www.hotelnikkonaha.co.jp/>



◆交通案内 ◇那覇空港駅より

①車で約30分

②ゆいレール・那覇空港駅～<首里行・約27分>首里駅下車～車で約10分

※詳細はホテル日航那覇グランドキャッスルホームページ「アクセス」をご覧ください。

<http://www.hotelnikkonaha.co.jp/access/>

*有料駐車場(400台)

平成 26 年度私学経営研修会《視察先学校》

沖縄県には私立中学校・高等学校（男女共学校）が6校ずつあり、この内、本年4月に中学校・高等学校が1校ずつ開設されている。高等学校は全日制(普通科)4校、広域通信制(普通科)2校で、中高一貫4校は全て併設型中高一貫教育校である。各学校はそれぞれの「建学の精神」のもと、独創性豊かな学校運営を展開している。

今回、沖縄県私立中学高等学校協会の全面的な協力によって、グローバル教育に先進的に取り組む「沖縄尚学高等学校・附属中学校」[A・Bコース]、4月開設の「沖縄アミークスインターナショナル中学校」(小学校併設)[Aコース]を訪問する。

① 沖縄尚学高等学校・附属中学校

[理事長・高校長 名城 政次郎 副理事長・中学校長 名城 政一郎]
那覇市国場 747

～沖縄、日本そしてグローバル社会をたくましく生きていく人材の基礎をつくり、
グローバル社会で信頼され活躍できる資質を備えた文武両道の教養人の育成を目指す進学校～

1983(昭和 58)年に高等学校を創立、1986(昭和 61)年に附属中学校を開設した男女共学校。生徒数 1,142 名(高)・831 名(中)、教員数 66 名(高)・24 名(中)。平成 18 年併設型中高一貫教育校に移行、6 年一貫教育を通して文武両道による教養人づくりを行っている。創設者である現理事長は「人間力の養成」を提唱し、暖かみ・厳しさ・知性の満ちあふれる学園を目指している。中高生がグローバル社会で直面する課題に対応する能力を育むこと、その力が自然に育まれる環境の提供が教育の役割であると考え、全ての生徒に学力と人間力をバランスよく育む環境を提供している。

- ①知識と思考力を養成する習得目標を明確にした授業
- ②グローバル社会で通用する知恵を育むための諸活動(ボランティア、課外、異文化交流)
- ③グローバル・スタンダードとなっている文化力を身につける沖縄伝統空手の必修授業
- ④英語によるコミュニケーション力を高める英検やネイティブ・スピーカーによる授業
- ⑤連帯感、倫理感、相互信頼感が生まれる目標の共有化

グローバル社会を見据え、グローバル・シティズンの資質を備えた、グローバル人材の基礎作りを旨としている。海外に 27 の教育協定校を持ち、多くの異文化交流プログラムを実施、滞在期間 1 か月未満の短期留学生がほとんどだが外国人留学生も毎年 100 人程度受け入れ、短期・長期合わせると尚生の 100 人以上が海外に留学する。日本を含む世界中の大学に進学できるグローバル進学校を目指しており、その一環として、日米両大学へのダブル合格を目標とする国際文化科学コースでは、TOEFL,SAT 対策の授業を実施し、また歴史、数学、理科などは授業の一部を英語で行っている。同コースでは高校教育のグローバル・スタンダードといわれる国際バカロレアのデュアル・ランゲージ・ディプロマ・プログラム(DLDP)を 2015(平成 27)年度から導入する予定。尚学グローバル寮では留学生・外国人教員との共同生活を通して日常的に異文化体験ができる。

★沖尚プロジェクト 24

同プロジェクトでは、国際社会(多文化社会)で信頼される資質を育み、共通の目標に取り組むことで、連帯感⇒倫理感⇒信頼感を育むことを目的に、沖尚生全員が次のことを目指す。①教養・倫理感・文化力・コミュニケーション力(4 つの資質)をバランスよく身につけながら目標大学に現役で合格する。②個人の間力だけでなくチームの間力の素晴らしさを発揮する。

★クラブ活動

文武両道の進学校としてスポーツを奨励し、クラブ活動を通して相手を思いやり自分に自信をつける等、精神的にも肉体的にも調和のとれた人間力を兼ね備えた人間教育の実践に努めている。柔道(全国制覇)、野球(全国選抜高校野球大会優勝 2 回・2014 年選抜で 3 期連続出場)、ボクシング(九州大会団体優勝)、テニス(沖縄県インターハイ男子団体優勝、女子個人優勝)など、年々着実に成果を生んでいる。

② 沖縄アミークスインターナショナル中学校

[理事長 赤尾 文夫 校長 新川 智清]
うるま市字栄野比 1212-1

2011(平成 23 年)4 月に小学校・幼稚園を創設、2014(平成 26)年 4 月に中学校を開設したイメージンコースとインターナショナルコースを併せ持つ一条校(男女共学校)。生徒数：401 名(小)・59 名(幼)、教員数 22 名(小)・4 名(幼)。

★学校創設までの経緯・背景

沖縄県・うるま市・旺文社の合意の下、「沖縄科学技術大学院大学(OIST)」開学(2012(平成 24)年)にあたって、大学支援環境整備の一環として、世界中から集まる研究者・学生とその子弟を受入れる教育機関となるインターナショナルスクール設置のための(財)沖縄国際学園設立準備財団が、2008(平成 20)年 11 月に設置された。敷地はうるま市が提供、校舎等施設設備は沖縄県からの補助金、県内外・国外の企業・団体・個人からの寄付金・募金と同財団借入金で賄われ、学校の管理運営は新設の学校法人沖縄アミークス国際学園が行い、2005(平成 17)年群馬県太田市に開校した英語教育特区第一号「ぐんま国際アカデミー高・中・初等部」(英語イメージン教育・小中高 12 年一貫校・IBDP 認定校)を設置運営する学校法人太田国際学園のノウハウに優れた旺文社が支援することとなった。2010(平成 22)年 5 月にプレスクール開校、2011(平成 23)年 4 月に一条校のインターナショナルスクールとして、沖縄アミークスインターナショナル小学校・幼稚園を開校した。学校規模は将来的に中学校・小学校・幼稚園迄の 10 年一貫教育で全生徒児童数 850 名程度、教員数 70 名程度となる。

★学校概要

沖縄本島のほぼ中央(那覇 IC から車で約 30 分)に位置し、素晴らしい自然に守られた豊かな緑の中の学校。73,025 m²の広大な敷地には、低層の本校舎、グラウンドをはじめ馬場や自然遊歩道、バンガロー等を備え持つ。インターナショナルクラス(英語力を有する児童生徒)とイメージンクラス(英語を母国語としない児童生徒)の 2 コースが 1 つの校舎に共存しており、沖縄県内外の日本人及び外国人子弟を対象に受け入れている。

授業は、基本的に国語以外は英語で行い、教科・活動などによって学級制や混合制で行われる。

中学校では、1 学年定員 90 名(イメージンコース 60 名、インターナショナルコース 30 名)・1 学年 3 クラス構成。生徒は自分の目指す進路を明確にしていく。日本の高校への進学希望者は日本語による数学・理科の補習を行う。海外の高校に進む場合は SSAT(米国高校入学の際に要求される学力テスト)、ISEE(米国私立中学校や高校入学の際に受ける学力テスト)の試験を受けるのが一般的で、その為の特別授業を準備している。また、海外高校進学希望生徒向けに米国・豪州等に海外提携校を用意している。高等学校は設置せず、生徒たちが自分の将来をより自由により広いスタンスで選べるよう、中学校卒業時の進路として 4 つの出口

①日本の高校への進学、②海外の高校への進学、③就職(海外で仕事を選ぶ)、④就職(日本で仕事を選ぶ)がある。

小学校は中学校と同じクラス構成。音楽・理科は教科担任制。イメージンコースは、英語で授業を行う(国語・社会を除く)。インターナショナルコースは、1 年生入学時は英語力不問であるが、英語が試験科目に含まれる。国語の授業がある。

課外活動は、スポーツ(空手、サッカー、馬術、ゴルフ等)、アート(陶芸、染色等)、音楽(ピアノ、バイオリン、ソルフェージュ)。

国際性豊かな人材の育成を実践校として、国際交流拠点を目指す沖縄県にとって大きな意義を有する。また、周辺地域の小・中学校との連携による相互教育効果も期待されている。

FAX 03-3222-1683

平成26年度 全国私立中学高等学校 私学経営研修会 参加申込書

平成26年 月 日

① 参加者氏名	(ふりがな)			〔 男 〕 〔 女 〕
② 学 校 名	学校 1. 中学校 2. 高等学校 3. 中高併設校 4. 大学付属校 区分 A. 男子校 B. 女子校 C. 共学校 (含む男女別学校)	③ 職名		
④ 学 校 住 所	〒 TEL () FAX ()			
⑤ 参加確認証送付先 <small>※上記の参加者ご本人、または 学校住所以外への送付を希望 する場合にご記入ください。</small>	〒 (受取人氏名 _____)			
⑥ 参加者連絡先※	※緊急の場合、確実に連絡がとれる携帯電話番号・自宅電話番号等をご記入下さい。			
⑦ メールアドレス	<div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <small>※今後、当研究所からの研修会のご案内等のメール配信をご希望の方は、メールアドレス(携帯電話のメ ールは不可)をご記入下さい。(過去に当研究所の研修会に参加し、申込書等にご記入頂いた方は、 すでに登録されておりますので、記入の必要はありません。アドレス変更の場合はご記入下さい。)</small>			
⑧ 意見交換会【6/6(金)午前】の「重点テーマ」について ※下記「重点テーマ」から第1希望、第2希望のテーマを選んで、枠内の数字に○を付けてください。				
第1希望	1 : 2 : 3 4 : 5 : 6	第2希望	1 : 2 : 3 4 : 5 : 6	※他の希望テーマがあれば参考にご記入下さい
☆重点テーマ(グループ討議の主テーマ) 〔 1. グローバル化と経営 2. 学校と教員の改革 3. 生徒募集対策 〕 〔 4. グローバル化対応教育 5. グローバル人材育成 6. 学校危機管理 〕 <small>※意見交換会(グループ討議)のグループ分けの参考としますので、必ず第2希望までお選び下さい。調整の結果、必ずしも希望通りと ならないこともあります。希望テーマの記入がない場合、その他の希望テーマに記入の場合、グループ分けは当方で適宜調整します。</small>				
⑨ 学校視察【6/6(金)午後】の視察コースについて ※下記「A・B」コースから第1希望、第2希望を選び、枠内のAまたはBに○を付けて下さい。				
Aコース【定員50名】(沖縄尚学高等学校・附属中学校～沖縄アミークスインターナショナル中学校) Bコース【定員70名】(沖縄尚学高等学校・附属中学校)				※不参加 (○付け↓)
第1希望	A · B		第2希望	A · B
<small>※不参加の場合は「不参加」欄に○をご記入下さい。※ご記入がない場合は不参加とさせていただきます。(参加費用は同額です)</small>				
⑩ 通信欄				
【宿泊申込書】《ホテル日航那覇グランドキャッスル》 ☆ホテル宿泊希望の場合は、下欄の希望日に○を付けて下さい。				
宿泊日	6月4日(水) 《前泊》	6月5日(木) 《当日泊》	6月6日(金) 《後泊》	喫煙室・禁煙室(番号を○で囲む)
				1. 喫煙室希望 2. 禁煙室希望
<small>※シングルルーム1名1室利用・1泊朝食付・税サービス料込(1泊10,000円) ※禁煙室は先着順(禁煙室数が限られているため、申込時期によっては「喫煙ルームの消臭処理」となります) [備考欄] (ツイン利用希望の方は、その旨と同室者のお名前も記入して下さい。)</small>				
※FAXまたは郵送でお申し込み下さい。 ※複数名の参加の場合は、恐れ入りますが、本参加申込書をコピーしてご記入下さい。			受付番号	